フラクタル心理学は人生運転メソッド ―― 受講生の感動ストーリー2

母親が自分のすべきことをし出すと、不登校だった息子さんたちが学校に行くようになり、 進路も決めたという和田加奈子さんからお聞きしたお話です。

妻としての責任を果たすと、 息子たちが自分の道を歩み始めました。

~たちが2人揃って見せてくれたのは私自身の姿でした。

フラクタル心理学アドバイザー 教育心理コース講師 ビジネスマインドコース講師

和田 加奈子 さん 茨城県在住

ました。学校のことも本人が管理 して、月に数回登校して、勉強と 仕事を両立し始めました。

朝の5時には仕事に行くようになり



次男も中学3年の9月から学校 に行くようになりました。10月の 文化祭ではバンド活動を披露し、 また、その頃から高校受験を目指 して猛勉強するようになりました。

■ 子どもたちは進路を決め、私も講座を始めました

責任を取ると決めてから、私は実家の手伝いに加えて派 遣の仕事も週3回行くようになりました。ダイエット講座のフォ ローアップで「和田さんもどんどん挑戦していったらいいのよ」 と講師から励まされて、その1ヵ月後にアドバイザー試験に 挑戦して合格しました。ちょうど次男の高校受験のタイミング

次男は高校に入学してすぐ、先生から学級委員をやってく れないかと推薦されました。私が責任を取ると決めると、次 男にも同じ要素が出てきたようで嬉しくなりました。次男は週 1回、夢のために東京の専門学校にも通うと決め、その分 の学費は自分で稼ぐと、バイトも始めました。長男も、来年 の4月からは4年制の専門学校に進路を決めています。



でした。



自分で決めた進路へと進み始めた長男と スマホでパチリ

二人の息子の問題がフラクタル心理学を学ぶきっかけでし た。学んだ結果、息子たちが見せてくれたのは私自身の姿そ のものであり、ごまかすことも気を抜くこともできないのだと 知りました。と、同時に、自分が望む世界をどのようにでも つくっていけることも知ったのです。

私も資格を取ってフラクタル心理学の教育心理コースとビジ ネスマインドコースを教えるようになり、不登校で悩むお母さ んのカウンセリングも始めました。長男と次男、不良と不登 校×2人で、たいへんな体験をしてきた私だからこそわかる ことを伝えていきたいと思っています。

■ 責任を果たしていないことに気づく

長男が中学2年の秋頃から不登校になり、年が明けて1月 からマスターコースと家族関係コースを受講しました。 3ヵ月 後に長男は公立の高校に行きましたが、何かと反発する長男 との関係で疲れ切っているところに、今度は次男が中学2年 の2学期終盤から学校に行きしぶるようになったのです。

講師に相談すると、「まだ甘えている。問題を自分で解決 しようとせず、何とかなると思っている」と言われました。 子どもにとっては勉強をすることが責任を果たすことで、私 が主婦、母、妻としての責任を果たしていなければ、子ども たちが責任を果たすわけがないというのです。

言われてみれば、家事や掃除が自分の仕事という自覚が なく「なんで私がやらなくてはいけないの!?」という思いで イヤイヤやっていました。子どもの用事をするのも自分の時間 を奪われる感覚でした。"子どもたちがこんなで私は悲しい" というフリをして、夫に家事をさせていました。夫が何も言 わないのをいいことに、夫が稼いできたお金を好き勝手に使 いまくり、夫が私の思い通りに行動しないと腹さえ立てる始 末でした。

「ご主人に感謝の一つもないなら、あなたがしていることは 搾取です」「それを止めないと、あなたがしてきたように、 今度はあなたがされますよ」と講師から諭されました。私が 自分のすべきことをせずに夫のエネルギーを奪っていれば、 子どもたちも自分たちのすべきことをせず、私の労力を奪う ようになる。まさに子どもたちの姿は私でした。私が変わら ないと子どもたちは変わらない、「本気で解決する! | と決 意したのです。

■ 責任を果たし始めると長男と次男に変化が

それからは、自分の責任と思いながら家事をし、妻、母と してすべきことをしました。夫のためにお弁当を作るようにな ると、夫が稼いでくれていること、今までしてくれたことがあ りがたく、素晴らしい夫に恵まれたと思えるようになりました。

私がすべきことをして、夫のエネルギーを奪わなくなると、 夫はその分仕事にエネルギーが向けられるようになり、お給 料が大幅にアップしました。夫はそれが大きな自信となり、 毎日が充実してきたようです。

それまで私は何かを継続したり、努力したりすることが嫌 いでしたが、8月にダイエット講座を受講すると、朝、夫と 30分のウォーキング&ランを始めました。6キロ減量すると 共に、「コツコツ努力を続けられるのだから大丈夫」という 自分への信頼と自信が生まれました。

長男は高校2年の夏から学校のないときは働くという約束 で、通信制に転入しました。あれだけ起きられなかったのに、

■ 和田加奈子さんのブログ

不登校・思春期の問題が根本原因からスッキリ解消するカ ウンセリング

http://ameblo.jp/sekaka1221/